

異常気象時代の収量課題に新提案 農業用微生物資材「ルートクween®」の実証データを公開 — 日本農業新聞ウェビナーにファーマフーズが登壇 —

株式会社ファーマフーズ（本社：京都府京都市、代表取締役社長：金 武祚、以下「当社」）は、2026 年 4 月 17 日開催の日本農業新聞主催オンラインセミナー「バイオスティミュラントの今がわかる」に登壇し、異常気象下における作物生育の課題を解決する農業用微生物資材「ルートクween®」の実証データを発表いたします。

猛暑や不安定な気候により収量・品質の低下が深刻化する中、植物本来の力を引き出す「バイオスティミュラント（BS）」への関心が急速に高まっています。当社は、独自に見出した植物内生酵母を活用した新技術により、こうした課題に対する具体的なソリューションを提示します。本技術は、従来の「投入型農業」から「植物の潜在能力を引き出す農業」への転換を促すものであり、持続可能な農業経営の実現に資する新たな選択肢となります。

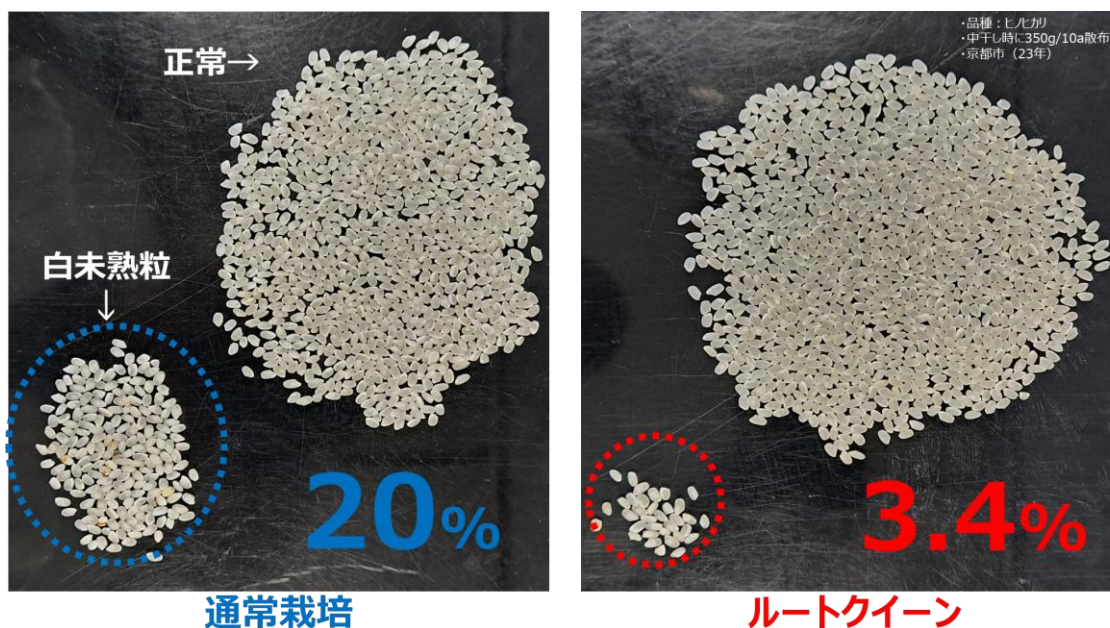


図 1：ルートクween®は猛暑における白未熟粒の発生を顕著に抑制

当社は、卵をはじめとする身近な天然物から新たな機能性成分を探索・開発する独自の研究基盤を有しています。これまでに、卵由来成分として育毛成分「HGP」や膝関節成分「iHA」を発見し、育毛剤「ニューモ」やサプリメント「タマゴサミン」などのロングセラー商品へと展開してまいりました。

近年では、猛暑や異常気象による農業課題の深刻化を背景に、当社の機能性素材研究で培ったバイオテクノロジーをアグリ分野へ応用。独自に見出した植物内生酵母を活用したBSの研究開発を推進しています。このように、ヒトの生

命力を引き出す「ライフサイエンス」で確立した知見を、植物の生命力を高める「アグリサイエンス」へと展開した成果として、次世代農業用微生物資材「ルートクイーン®」を開発いたしました。本セミナーでは、「ルートクイーン®」について、科学的エビデンスおよび現場実証データに基づき、その優位性を解説いたします。

【ルートクイーン® 3つの特長】

※当社プレゼンテーションは 14:30~14:40 予定

- 1) 根張りの促進：高温ストレス下でも根の生育を最大 264.1%促進
- 2) 減肥下でも収量増加：肥料削減条件でも収量 35%増加
- 3) 環境ストレス耐性：猛暑下での白未熟粒の軽減など品質維持に貢献

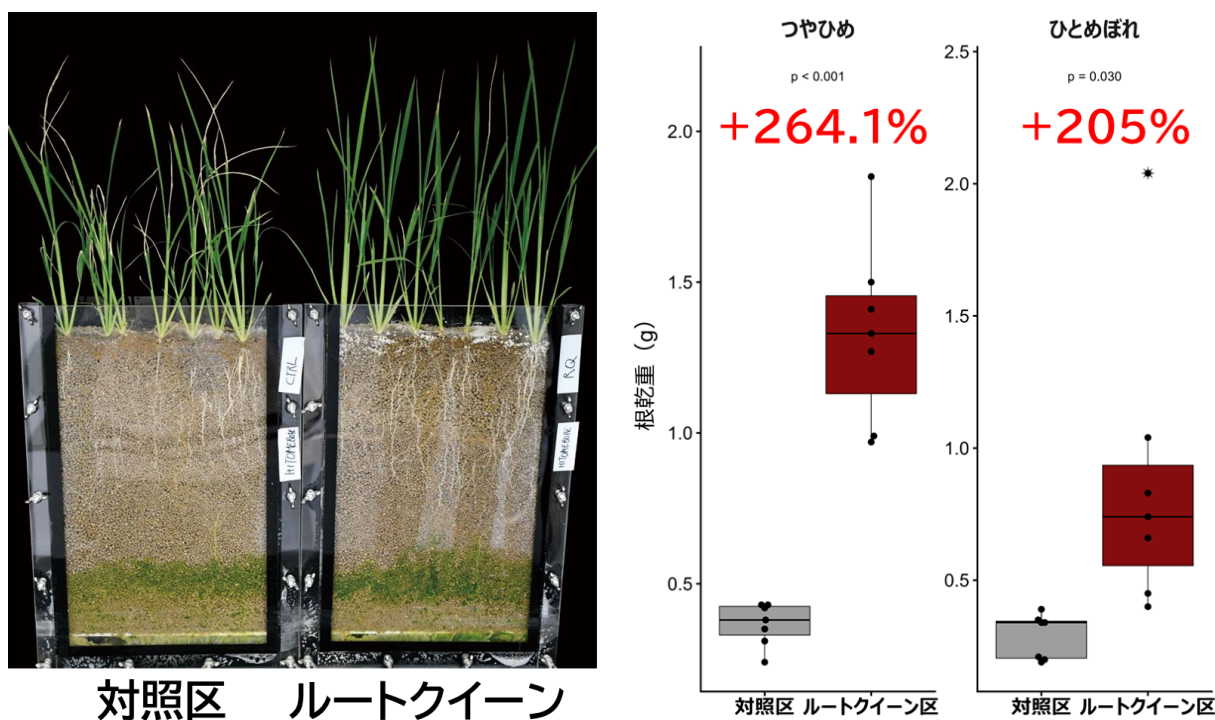


図 2：ルートクイーン®は猛暑条件下でも根張りを顕著に促進

【ルートクイーン® の製品仕様】



製品外観

(チャック付きアルミパウチ)



製品中身

(パーライトに植物内生酵母を担持)

【補足：オンラインセミナー全体概要】

- ・演題：「バイオスティミュラントの今がわかる」
- ・日時：2026年4月17日（金）13:30～16:15
※当社プレゼンテーションは14:30～14:40の予定
- ・形式：オンライン（Zoom）※後日YouTubeでのアーカイブ配信あり
- ・主催：日本農業新聞・詳細・申込 URL：<https://pr.agrinews.co.jp/ad/biostimulants202604>

当社は今後も、独自のバイオテクノロジーを活用し、食・健康・農業の分野における社会課題の解決に貢献してまいります。

以上

【本件に関するお問合せ先】

経営戦略部・広報担当 下記リンクのお問い合わせフォームをご利用ください。

<https://www.pharmafoods.co.jp/contact/ir>